



内膳町自治会通信

《第28号》

会報編集委員会
平成27年11月発行

食べて遊んで秋まつり満喫！

ご挨拶
晴天のもと無事に秋まつりを終えることが出来ました。子どもたちの笑顔が飛び交う二日間でした。皆さまのご協力に感謝申し上げます。これからも元気な内膳町であること願うものです。ありがとうございました。

地縁団体 内膳町自治会 会長 上田 剛



内膳町秋まつり（主催・地縁団体内膳町自治会）は10月24日、25日の2日間、内膳春日神社の境内を会場に行われました。この日を待ちかねた大勢の人々が来場。模擬店やゲーム、大道芸、景品が当たる抽選会、子供たんじりなど、盛り沢山の催しを楽しみました。



▽10月24日。空のどこを探しても雲が見当たらぬくらい、よく晴れた朝を迎えた。午前8時に春日神社にスタッフが集まり会場を設営。準備が整った午前11時30分、秋まつりが始まりました。正午過ぎたころから親子連れや友達同士で主役の子供たちが次々に来場し、お目当てのゲームや食べ物ブースに向かいました。何より気がかりだった空模様は両日とも好天に恵まれ、一年ぶりに境内は子供たちの元気な声であふれました。

▽一方、だんじりは小学校一年生以下の子供たちを順番に乗せて巡行しました（二日間で計115人）。初日は他の行事と重なったせいか引く人数がやや手薄になりましたが、長距離を巡回する二日目は交通委員の呼びかけに応えて（自分がだんじりに乗る区間以外は）子供たちが引き手に加わり、交通委員や保護者に見守られながら町内を練り歩きました。

▽そして例年通り今年も福引き抽選会が秋まつりの最終イベントとして行われ、大盛況のうちに幕を閉じました。今回参加券を購入された方（世帯）に各一枚お渡しした抽選券は昨年より17枚多い189枚。参加券購入者の広がりだけでの判断は早計ですが、より多くの人の参加についています。

福引抽選会 Aさんが二重の喜びをゲット 10/25

(巨人ファンには申し訳ないが) 虎ファンは阪神が勝ち、巨人が負けるとこれを二重の喜びと言います。これが甲子園での直接対決だった場合は、その満足はひとしおです。この場合の喜びの満足度を測ることは出来ませんが、秋まつりの福引抽選会で二重の喜びを味わわれた方がいます。4等・高級すき焼き肉の当選番号が読み上げられると、ラッキーとばかりに笑顔で賞品を受け取ったAさん。それからわずか数分後発表された2等・多機能ホットプレート(すき焼きも出来ます)の当選券を手に再び景品引き渡し場所に現れ、「義父が当たりました。」とにこにこ顔を見せられました。自治会の催しには毎回率先してお手伝いいただくAさん。今年はいい秋まつりになりましたね！



パフォーマンスショー シャグラーミゾン氏に会場から熱視線 10/25

どうやら今後も大道芸は祭に欠かせないイベントになるかも知れません…昨年の秋まつりでショーの始まった直後から終りまで場内から拍手を浴び続けたりスボン上田氏と同様に、今回登場したシャグラーミゾン氏にも会場から惜しみない拍手が送られました。長い棒の先端での球回し、水晶玉を浮かせているように見せるパフォーマンス、ボール7個を使ってのお手玉など多彩な演技が繰り広げられました。フィナーレで演じた紐を使って中国ゴマを上下左右に操る大技には会場から思わず「かっこいい」と黄色い声援が飛びました。大道芸界の若獅子と呼ばれるミゾン氏は27歳、奈良市(大宮)の出身です。「会場の反応が素晴らかったのでやりやすかったです。また是非お願ひします。」と笑顔で語ってくれました。



